

九州新幹線 レール削正車^{きくせいしゃ}の追加投入について

当社は、九州新幹線の線路保守作業の一環として、大型の保守用車(レール削正車)を用いてレール表面を削ることにより、レール表面の傷の発生予防に取り組んでいます。

2022年度秋頃の西九州新幹線(武雄温泉～長崎間)の開業を見据え、このたび、イタリアから新規購入したレール削正車を追加投入いたします。

1 レール削正について

- レール削正車は、搭載された16個の砥石でレール頭部を削る(削正する)大型の機械です。
- レールの表面は、列車が繰り返し走行することで車輪との接触面に傷が発生しやすくなります。そのため、定期的にレールを削正し、傷が発生しやすくなった表面部分を除去することでレールの寿命を延伸することができます。また、レールの表面を滑らかにできるため、騒音対策としてもレールの削正を実施しています。(レール削正の詳細については、別紙をご参照ください)

2 レール削正車の主要スペック

今回投入するレール削正車の主要スペックは以下の通りです。

<主要スペック>

製作国:イタリア

メーカー:スペノ・インターナショナル社(スイス)

全長:約38m(3両編成)

重量:約120t

最高速度:70km/h

作業時速度:4～6km/h

(1晩あたり700m程度削正)



レール削正車の外観(同型車両)

3 使用開始時期

2021年11月頃

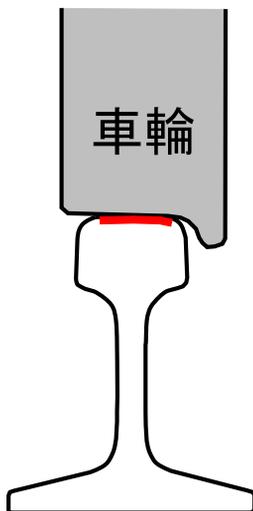
※追加投入する削正車は、九州新幹線(博多～鹿児島中央間)の線路保守作業に使用します。

4 その他

- 西九州新幹線(武雄温泉～長崎間)を含めて、レール削正車2台体制で線路保守を行います。
- 追加投入する削正車は現在イタリアから輸送中であり、2021年7月15日(木)に熊本港(熊本市西区新港)にて陸揚げされた後、当社熊本新幹線保守基地(熊本市南区富合町)へ搬送する予定です。

○レールの削正について

レール削正前



車輪

レールの表面は、列車が繰り返し走行することで車輪との接触面に傷が発生しやすくなる

レール削正の様子



砥石

削正車に搭載された高速回転する砥石（上）をレールに押し当てて表面を削正する（左）

レール削正後



定期的にレールを削正し、傷が発生しやすくなった表面部分を除去することでレールの寿命を延伸することができる

また、レールの表面を滑らかにできるため、騒音対策としてもレールの削正を実施している